地震・津波に備えよう

12月21日（水）は「えひめ防災の日」
「自分の命は自分で守る」が基本 津波は〝逃げるが勝ち〟と心得て！

発生確率が高まっている大地震に備えていますか？

今後30年以内に発生する確率が70～80％とされている南海トラフ地震は、愛媛県地震被害想定調査によると、マグニチュード9・0クラスの巨大地震となり、県内でも最大震度7、死者数約1万6，000人（うち、約半数が津波による死者）にものぼる可能性が想定されています。皆さん、備えは万全でしょうか？

12月21日（水）は「えひめ防災の日」、17日（土）～23日（金）は「えひめ防災週間」。この機会に、身の回りの防災について考えてみましょう。

地震は突然襲ってくるもの。防災グッズや備蓄品はもちろん、「心の準備」も必要です。

津波から〝逃げる〟ために、今から心の準備を

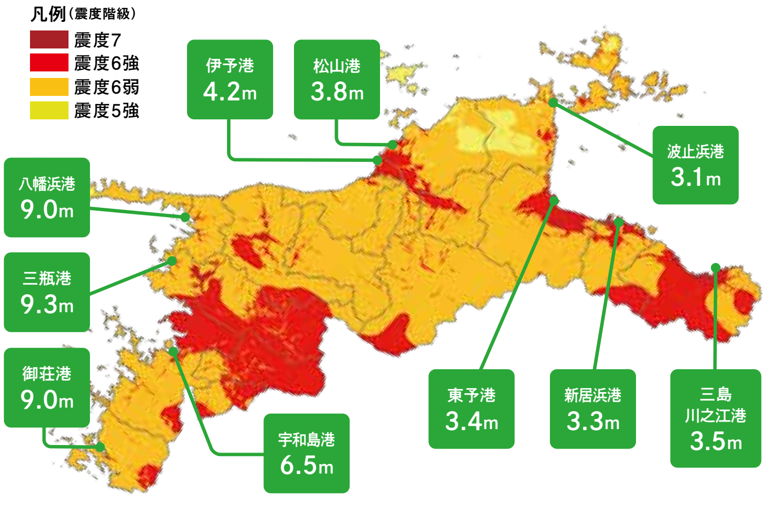
愛媛県でも特に危惧されるのが津波。宇和海沿岸だけではなく、瀬戸内海沿岸も津波の危険性がありますので、今一度、市町の防災マップ等で自宅や職場、学校などの危険度を調べてみましょう。

自分や家族を守るための基本行動は、とにかく津波から〝逃げる〟こと。まずは避難場所とルートをチェックしておくことが大切。そして、地域で実施する避難訓練などにも積極的に参加を。これで「心の準備」も万全です。

南海トラフ地震の津波被害は瀬戸内海側も！

（出典：愛媛県地震被害想定調査）

県内の大部分が震度6弱以上の強い揺れに襲われる可能性があります。沿岸部や川沿いの低い土地では**液状化**が発生するほか、海抜の低い地域では、**地盤沈下**や**堤防の倒壊**により、**地震発生からすぐに浸水が始まる可能性**があります。



地震から命を守るには

津波浸水想定区域や浸水深を確認しましょう

ハザードマップポータルサイト（国土交通省）▶

❶住宅の耐震化

古い木造住宅は、大地震で倒壊する可能性があります。耐震診断や耐震改修の支援制度があります。

標準的な場合の補助金 ………… **合計100万円**

※昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象。
一部市町では、瓦屋根改修に関する加算補助も実施しています。

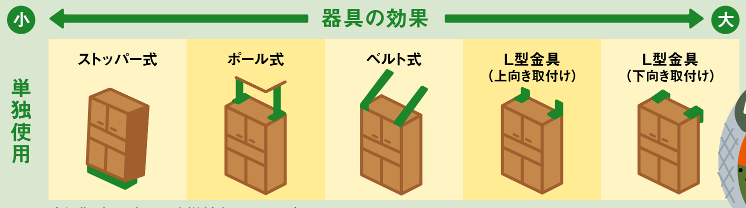
問 建築住宅課
☎ 089-912-2757

詳しくはコチラ！

平成28年熊本地震

❷家具の固定

固定していない家具の下敷きになって命を落とすことも。ホームセンターなどで販売されている家具転倒防止グッズで簡単に固定できます。



（出典：内閣府HP防災情報のページ）

今こそ覚えておきたい「津波避難の心得」

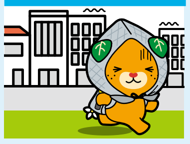
津波→高い場所へ避難

昭和21年12月21日に起こった「昭和南海地震」では、瀬戸内海側でも家屋倒壊による死者が発生し、地盤沈下で広範囲に浸水被害が及んだとの記録が残っています。特に津波は到達予測が数時間後でも、それ以前の浸水で移動できなくなる場合があるため、余裕があると思ってはいけません。すぐ高いところへ逃げてください！

そのためには、平常時から「津波避難の心得」を心に留めておきたいもの。家族や地域の皆さんで共有し、今後の避難訓練などに役立ててください。

津波避難の心得

弱い揺れでも避難！



沿岸では弱い揺れでも、海底で大地震が起こって大津波がくることがあります。

一度避難したら戻らない！

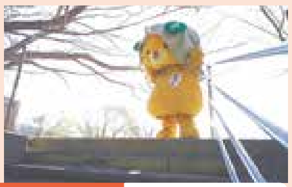
津波は繰り返し襲ってきます。警報・注意報の解除まで安全な場所で待機してください。

「遠く」よりも「高く」へ避難！

津波はものすごいスピードです。到達予想時間までの余裕がないときは近くの高い場所を目指して避難してください。

津波避難写真応募プレゼント企画「逃げチャレ」して避難経路を確認！

津波から迅速に避難するためには、**実際に高台等の避難場所へ行ってみることが大切**。日常の散歩等の機会を利用して、避難場所を確認しましょう。



「防災衣装みきゃんぬいぐるみ」または「エマージェンシーボトル」が抽選で当たる！ 夜間の風景はWチャンスあり。

避難を実践した写真を投稿して応募しよう！ ～12.23㊎まで

参加方法

①自宅や職場、学校などの津波浸水リスクを確認しましょう。

②最寄りの安全な避難場所（高台）を探し、自宅等からの経路を確認。

③自宅等から高台まで実際に歩いて避難を実践し、高台の風景を撮影。
【津波避難のチェックポイント】
○自宅等の標高（m）　○自宅等が浸水する深さ（m）
○避難する高台の標高（m）　○自宅等から高台までの移動時間（分）

④高台等の写真と津波避難のチェックポイントを投稿して、プレゼント企画に応募！

詳しくはコチラ！

TOPICS-1

「シェイクアウトえひめ」にもチャレンジ！

参加登録はコチラ！

県下一斉に開始する地震防災訓練。
自宅・学校・職場など、どこでも参加可能！

地震発生時3つの安全確保行動

実施日
12月19日（月）11:00～（1分間程度）
※12月23日（金）までなら、いつでも実施可能

参加方法
上記の二次元コードから参加登録

TOPICS-2

切り取って、定期的なチェックに役立てましょう。

津波避難のチェックポイント	夜間避難のチェックポイント
◯自宅等の標高＿＿＿＿m	◯明かりの確保（懐中電灯やランタン） いつでも持ち出せるようにしておきましょう
◯自宅等が浸水する深さ＿＿＿＿m	◯ケガを防ぐ装備（ヘルメットや靴） 暗闇で何かにぶつかったり踏んだりするかも
◯避難する高台の標高＿＿＿＿m	◯転倒・転落の危険が少ない道 昼間は大丈夫な道でも足を踏み外すかも
◯高台までの移動時間＿＿＿＿分 高台が浸水しない場所であることを確認しよう	